

キャンパス散策（神戸女子大学）

70年のあゆみ



創立70周年を迎える学園の歴史は、昭和15（1940）年11月の神戸新装女学院の設立から始まります。創設者の行吉國晴・哉女夫妻は、女性（とりわけ戦争未亡人たち）の手に職をつけ自立を促し、世の中に役立つ人材を育成することを目的として洋裁学校を創設し今日に至っています。

昭和25（1950）年3月、わが国に短期大学の制度が発足すると同時に神戸女子短期大学を神戸市生田区（現中央区）に開設し、「民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする有為な女性を育成する」を建学の精神として、新しい女子教育を開始しました。現在、総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科の3学科からなり、在学生803名、卒業生総数は約30,000人に至っています。

一方、神戸女子大学は昭和41（1966）年3月に神戸市須磨区に設置され、当初は家政学部家政学科だけで発足しましたが、その後文学部・健康福祉学部が増設され、現在3学部9学科、在学生3,224名を擁する女子大学として充実・発展し、卒業生総数は既に24,000人を超えています。



行吉國晴・哉女夫妻

各キャンパス



須磨キャンパス



ポートアイランドキャンパス

古くから港町として栄え、異国情緒溢れる神戸市内に3つのキャンパスを設置しています。さまざまな歴史の舞台となった須磨に位置する「須磨キャンパス」には文学部と家政学部があり、三宮からのアクセスが抜群で都市型キャンパスともいえる「ポートアイランドキャンパス」には健康福祉学部と短期大学が、そして神戸の中心地に



三宮キャンパス

位置する「三宮キャンパス」では大学院の授業が昼夜間開講制で行われており、一般市民向けのオープンカレッジを開講するなど学生はもちろん、社会人や地域の方にも幅広く活用されています。

須磨キャンパス

須磨キャンパスは、神戸市須磨区の山手にある広大な須磨離宮公園に隣接し、緑豊かな自然環境に恵まれ、昭和63（1988）年には大学の裏山（青山）に学生の健康を守り、体力の増進を目的として、散策道「万葉の道」を設置しました。山ふとところに抱かれたキャンパスは、高低差を巧みに利用した低層階の建造物が連結して配置され、キャンパスの中央にある噴水広場は学生の憩いの場として提供されています。また、須磨離宮公園とは平成18年（2006）年12月にキャンパス・パーク（C P）連携を結び、相互に施設を開放しています。学生や教職員は自由に公園の施設を利用できるようになり、第二のキャンパスとして新入生のオリエンテーション、大学の行事や青空ゼミ等の授業、研究会、クラブ活動の発表会等が実施されています。学生生活を支援する福利厚生施設として、保健室、学生相談室、ラウンジ、カフェテリア（学生食堂）、ブックショップ、郵貯キャッシュコーナー（ATM）、クラブハウス、学友会室等があります。カフェテリアには、学園が運営するカフェバーカー「marberg（マーベル）」があり、手作りのパンや飲み物を販売しています。またフロアにはピアノが設置されているので、定期的にクラブやサークルの学生や教員たちによるコンサートが開催されています。



須磨離宮公園でのコンサート



カフェバーカー：marberg マーベル

ポートアイランドキャンパス

ポートアイランドキャンパスは、低層階の建造物が横に広がる須磨キャンパスとは対照的に人工島でもあることからフラットな校地に比較的高い建造物で構成されてい



完成した体育館で汗を流す部員たち

ます。保健室や学生相談室、食堂、売店、クラブハウス等があり、本年4月には新体育館が竣工しました。



完成した体育館

三宮キャンパス

三宮キャンパスには古典芸能研究センターがあり、能・狂言・歌舞伎や民俗芸能に関する資料も多く揃えています。また交通の便も良いことから、オープンカレッジには多くの一般市民の方が参加されています。

学生支援

創設者・行吉哉女の「学生一人ひとりを大切にする」という思いが教育の本質として受け継がれているため、各学部・学科ごとにクラス担任制度を設けています。また、教員が学生と対話するための時間を設けた「オフィスアワー制度」や、臨床心理士の資格をもった専門のカウンセラーが常駐する「学生相談室」など、あらゆる機会を通じて、学生一人ひとりの日常生活を支援しています。このほか、平成18（2006）年度から全学共通教養科目として、一年次教育の中にキャリア教育を導入し、前期に「キャリアに学ぶ」を開講しました。加えて翌（2007）年度には後期に「キャリアデザイン」を選択科目として開講しています。

前者は、女性の経営者あるいは管理職として活躍されている方々にその経験談をお話いただき、女性として社会で働くことへの動機付けにしてもらおうとするものであり、後者は、学生一人ひとりが就職の問題を自分の将来設計の中で考え、その道筋を描けるように指導するとともに、履歴書の書き方やマナー等具体的なノウハウを身につけさせようとしています。「キャリアに学ぶ」の運営に当たっては、キャリアサポートセンターが教育研究機構と連携・協力して、「キャリアデザイン」では、「就職活動の流れ」、「なぜ働くのか」、「業界研究・企業研究について」の講義をキャリアサポートセンターが協力・担当しています。

今後とも、学生の目線で、学生が望む教育を推進する大学を目指してまいります。



キャリア教育の講義風景